

福島第一原子力発電所の状況

2015年4月23日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (4/23 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.0 m ³ /h	17.4	0.3 kPa g	A系： - vol%
		給水系：約2.2 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.2 m ³ /h	24.0	3.91 kPa g	A系： 0.05 vol%
		給水系：約2.0 m ³ /h			B系： 0.04 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.4 m ³ /h	20.7	0.24 kPa g	A系： 0.05 vol%
		給水系：約2.1 m ³ /h			B系： 0.06 vol%

作業に伴いデータ欠測

【1号機】・2015/4/22～23 1号機原子炉格納容器内の1階グレーチング上の調査が終了したことから、原子炉格納容器内常設監視計器の再設置作業を実施。

【2号機】・2014/2/18 原子炉压力容器温度計(T-E-2-3-69R)の点検において、絶縁抵抗測定を実施したところ、0オーム()を指示することを確認。その後の評価により、温度計に短絡が発生しているものと推定され、原子炉压力容器温度監視機能を発揮できていない状態と判断。当該温度計は原子炉压力容器底部温度を監視していたが、近傍にある温度計(T-E-2-3-69H3)により監視することが可能。原因については、絶縁抵抗測定時の誤った電圧の印加と判断。

4/17,18 温度計(T-E-2-3-69R)の引き抜き作業を実施したが、温度計は引き抜けず、作業を一旦中断。

2015/1/14 引き抜き方法を検討するモックアップ試験を実施し、引き抜き力緩和効果が確認できたため、引き抜き作業(準備含む)を再開し、1/19、温度計(TE-2-3-69R)が引き抜けたことを確認。

3/12,13 モックアップ装置を用いた習熟訓練等を実施し、新規温度計の再挿入作業を実施。

4/23～ 設置から約1ヶ月の温度トレンドによる信頼性評価により、温度計(TE-2-3-69R)が正しい値を示していると判断。実施計画 章第1編第18条(原子炉の冷却状態の監視)の監視温度計、および第24条(未臨界監視)の代替監視(温度上昇率)の監視温度計として運用を開始。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (4/23 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	18.0
2号機	循環冷却システム	運転中	17.5
3号機	循環冷却システム	運転中	15.8
4号機	循環冷却システム	運転中	13.8

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	4/20 11:42 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	4/20 11:38 ~ 移送実施中

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (4/23 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)	増設多核種除去設備	高性能多核種除去設備
運転状況	運転中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中 ^{*2}	ホット試験中 ^{*2}	ホット試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5 . その他 >

・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。

・2015/3/16～ 1号機原子炉建屋カバー解体工事に向けて準備工事を開始。

[HIC ベント孔からの水の滴下について]

・吸着塔保管施設第二施設のHICについては、4/15までに103基の点検を実施し、11基のHIC蓋外周部に水溜まりを確認。これまで水溜まりが確認されたHICについては、予防措置的に蓋外周部に吸着マットを置く作業を実施しているが、水溜まりが確認されなかったHICについても、4/21より順次吸着マットを置く作業を実施。その際に、以下の通り新たにHICの蓋外周部に水溜まりおよびにじみを確認。

< 4/21 確認分 >

【水溜まりを確認したHIC】 【製造番号】
 ・AK6ボックスカルパート内HIC PO646393 - 190 (水溜まり)

< 4/22 確認分 >

【水溜まり・にじみを確認したHIC】 【製造番号】
 ・AM8ボックスカルパート内HIC PO646393 - 177 (水溜まり)
 ・AO5ボックスカルパート内HIC PO646393 - 209 (にじみ)

引き続き、現場調査を継続するとともに、原因究明を行う。

[海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況]

[2号機]・2015/2/24～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。

[3号機]・2015/2/5～4/8 海水配管トレンチの閉塞を目的として、トンネル部への閉塞材料の充填作業を実施。
 4/16～ トンネル部の充填状況を確認するための揚水試験を実施中。

[4号機]・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

[地下水バイパス揚水井の状況]

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

・地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日 4/12]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。4/23 10:13、海洋への排水を開始し、同日 10:16 に漏えい等の異常がないことを確認。同日 15:54 に排水を停止し、異常のないことを確認。排水量は 1,431m³。

[H4, H6 エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

< H4 エリア周辺のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< H6 エリア周辺のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況]

< 地下水観測孔サンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

< 地下貯水槽サンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。